公益財団法人ソニー音楽財団
（Ｓｏｎｙ　Ｍｕｓｉｃ　Ｆｏｕｎｄａｔｉｏｎ）

２０２２年度 事業報告書

（２０２２年4月１日～２０２３年3月３１日）

Ｉ．方針

当財団の２０２２年度事業は、これまでの事業に加え、中期事業計画の集大成である「こども音楽フェスティバル」を中心として事業の継続及び発展に努めながら、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化に適宜対応し、一層当財団の社会的評価を高めるよう努めました。

II．事業

公益目的事業１．音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

（1）「Ｃｏｎｃｅｒｔ ｆｏｒ ＫＩＤＳ～０才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から１９９９年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容・構成で開催しています。

今年度は東京秋川キララホールや千葉浦安音楽ホールほかにて開催いたしました。

【日程及び会場】２０２２年～２０２３年
８月１１日（木・祝）［東京］秋川キララホール
１月２１日（土）　　［三重］津市久居アルスプラザ（１日２公演）
２月１２日（日）　　［千葉］Ｊ：ＣＯＭ浦安音楽ホール

計４公演開催

（2）「日本赤十字社　献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年東京とそれ以外の地域で複数回開催している本コンサート・シリーズは１９９０年よりスタートし、３０年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する献血運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では充分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は東京にて１公演開催いたしました。

【日程及び会場】
第６６回 東京公演
日本赤十字社　献血チャリティ・コンサート　情熱のチャイコフスキー
２０２３年1月８日（日）　［東京都］ サントリーホール
出演: 小林研一郎（指揮） 周防亮介（ヴァイオリン） 東京都交響楽団

計１公演開催

（3）Ｄｒｅａｍ Ｓｅａｔｓ ／ 子ども音楽新聞

Ｄｒｅａｍ Ｓｅａｔｓは、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京・春・音楽祭との協働による公開リハーサルおよび１公演を取り扱いました。

また演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させる「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。今年度は「音楽史」をテーマに、計１刊を発行いたしました。

（4）こども音楽フェスティバル

子ども向けコンサートで多数の実績を持つソニー音楽財団とサントリー芸術財団がタッグを組んで子どもたちに贈る、世界最大級の本格的なクラシック音楽の祭典を、今回初開催いたしました。

子どもの年齢に合わせて趣向を凝らしてプログラムされたコンサートやイベントを同時に多数展開し、クラシック音楽を一日中余すところなく楽しめる、他に類を見ないビッグイベントとして開催した結果、総来場者数２９，０００人、配信総視聴者数９３，０００人と大きな反響をいただき終了いたしました。

【日程及び会場】
２０２２年５月４日（水・祝）～５月７日（土）
［東京都］サントリーホール およびアーク・カラヤン広場等 周辺施設
主催：公益財団法人ソニー音楽財団 / 公益財団法人サントリー芸術財団

公益目的事業２．国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

（1）齋藤秀雄メモリアル基金賞

２００２年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（１９０２－１９７４）氏に因むものです。

２０００年３月１７日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が９０歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現･公益財団法人ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、３０６，４８３，９６８円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により２００２年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

２０２１年度より小澤征爾氏が名誉顧問に就任するとともに、以後選考委員長に当財団理事長が就任することとし、受賞者を選定の上、理事会において決定することといたしました。

当賞の内容は以下の通りです。

今年度はチェロ部門を上野通明が受賞、指揮部門は沖澤のどかが受賞しました。

１．名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

２．選考対象

音楽芸術文化の発展に貢献し､将来一層の活躍が期待される､若手チェリスト、指揮者。

チェリストと指揮者を各々１年度に１人顕彰することを原則とする。

但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

３．選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年度の上半期に開催することを原則とする。

４．選考委員の選定

（選考委員長）

選考委員長は当財団理事長が担うものとする。

（永久選考委員）

永久選考委員は下記の通りとする。

永久選考委員： 堤　剛 氏（チェリスト）

（任期制選考委員）
上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を３名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は３年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。任期制選考委員への謝礼は年５万円（手取り）とする。

選考委員へは選考委員会出席時に別途１万円（手取り）を「お車代」として支給する。

５．名誉顧問の選定
名誉顧問は下記の通りとする。

名誉顧問：小澤征爾 氏（指揮者）

６．賞
・楯
・賞金　　当該年度毎に１人５００万円　（総額１，０００万円）

７．受賞者発表時期、方法
顕彰時期を考慮して、当該年度毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

８．顕彰時期
当該年度毎に適切な時期を定める。

９．主　　催：公益財団法人ソニー音楽財団
特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団
セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

（２）「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

２００２年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、１名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この

賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。
　今年度は、２０１９年度にチェロ部門を受賞した佐藤晴真によるコンサートを、東京・春・音楽祭との共催にて開催いたしました。

東京・春・音楽祭２０２３
佐藤晴真(チェロ）齋藤秀雄メモリアル基金賞 受賞記念コンサート

【日程及び会場】
２０２３年３月３０日（木）　［東京都］ 東京文化会館小ホール
出演：佐藤晴真（チェロ）、久松航（ピアノ）
主催：東京･春･音楽祭実行委員会 ／ 公益財団法人ソニー音楽財団

計１公演開催

公益目的事業３．子供への音楽を通した教育活動に対する助成事業

（1） ソニー音楽財団　子ども音楽基金

　日本でも７人に１人の子どもが貧困(厚生労働省「２０１６年国民生活基礎調査」)であることが問題視される中、経済的理由をはじめとした、さまざまな背景により音楽活動がままならない子どもたちへ、２０１９年にその活動を支援する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」を中期事業計画に基づき設立いたしました。
　原則として１８歳未満の子どもに音楽を通した教育を行う団体の活動を対象に、外部識者による選考委員会による選考を行い、理事会にて決定いたします。
　今年度は２０２３年度分を対象に公募を行い、計１３の団体の活動を採択し、総額１０，０３５，０００円の支給を決定いたしました。

（2） 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト

　２０２０年、新型コロナウイルスの影響により子どもたちに向けたクラシック音楽を通した教育活動を行う団体および若手演奏家を支援するため、支援総額５，０００万円の「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を急遽立ち上げ、３つの施策を実施いたしました。２０２１年度も４，５００万円規模の「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト２０２１－２０２２」として「支援１）『子ども向けクラシック音楽動画』の募集を通じた若手演奏家支援」と「支援２）ソニー音楽財団による『子ども向けクラシック音楽動画』の制作・無料

公開」の２つの施策を継続しています。

今年度もまだ新型コロナウイルスの影響が継続することに鑑みて動画コンテンツの制作を継続し、若手演奏家の表現の機会を創出するとともに、子どもたちが音楽を楽しめる新たな枠組み作りに取り組んだ結果、計５１の動画を制作、公開いたしました。

（以上）